

会議録

会議の名称	第3回加西市元気なまちづくり市民会議
開催日時	平成28年10月15日(土) 午前10時00分～11時35分
開催場所	加西市役所 1階 多目的ホール
議長の名	(会長 牧瀬 稔)
出席及び欠席委員の名	<p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河尻 悟 ・久米澤 稔 ・杉本 建人 ・立花 莉絵子 ・半井 孝明 ・橋本 たへ子 ・牧瀬 稔 ・前田 麻耶 ・丸井 正樹 ・吉田 廣 <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高見 めぐみ ・仲井 正人
傍聴者の人数	一般：1名 報道機関：なし
出席した事務局職員の名及びその職名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事(地域創生担当) 須貝 正俊 ・ふるさと創造部長 西岡 義信 ・ふるさと創造部人口増政策課長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 小山 健一 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 小菊 啓靖 ・ふるさと創造部人口増政策課主任 小林 和敏 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映
1 議事	<p>(1) 平成27年度評価検証結果のパブコメ結果について</p> <p>(2) 外部評価の意見等について</p> <p>(3) 加西市地域創生戦略の成果指標の状況(平成27年度)</p> <p>(4) 加西市行財政改革プラン(案)について</p>
2 会議資料	外部評価の概要ほか
3 会議の経過	⇒別紙「第3回加西市元気なまちづくり市民会議の経過」のとおり

(別紙) 第3回加西市元気なまちづくり市民会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>開会</p>
会長	<p>1 会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 来年度は回数を4～5回に増やすことを検討してほしい。 本年度は今日で最後なので、終了後、記念写真を撮っておくこととする。
	<p>2 議事</p> <p>(1) 平成27年度評価検証結果のパブコメ結果について 事務局から説明</p>
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> パブコメの意見は、加西市の場合0件が多いのか。 気球条例は意見があったが、多数というわけではなかった。1件も出ないことは少なからずある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと創造会議で地域の各世帯に意見を求めることがあったが、意見は少なかった。市民の意見を聞く方法はさらに考えていく必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> パブコメで意見が出ないので、市民会議を開催する意義があると思う。
	<p>(2) 外部評価の意見等について 事務局から説明</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 九会のふるさと創造会議自然部会ではホテルの生育を行っているが、各種団体等が連携して参画していただく方法もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと創造会議は小学校単位だが、公民館は中学校単位なので、小学校単位の拠点が望ましく、ハード整備面の課題といえる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 市民会議の意見として出しておいてほしい。
	<p>(3) 加西市地域創生戦略の成果指標の状況（平成27年度） 事務局から説明</p>
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 31年度に向けた人口増対策はどうなっているのか。 2040年度5万人に向け、子育て支援と魅力あるまちづくり両面に取組み、31年度に社人研予測の44,186人を現状並みの45,728人(+1,542人)が当面目標である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 若い人に住んでもらうようにしないといけない。そのためには、質の良い保育、教育が必要である。目標の中に入れてほしい。 加西は良い保育と教育をやっているのだから、教育委員会と連携をして発信していただきたい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 移住斡旋数が厳しいのではないかと。 空き家バンクのリニューアルに続き、今年度から移住・定住促進担当を設置し積極的に進めている。シティプロモーションにより31年度200件をめざしている。
委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 加東市の人口増は120人余となっていたが、人口の動向はどうか。 例年9月は人の移動が多い傾向にあると思われる。 出生率も大切だし、結婚しても加西市に住んでもらわないといけない。水が高いのも問題である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 水道料金は、北播6市町のなかで安い方から3番目になっている。24年度から住宅不足が一番の課題だととらえ、住宅供給に力を注いできた結果、年間500～600人の人口減は最近では400人程度に減少している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 「加西市、住む」で検索をしてみたところ、市のホームページが一番に出てこないのだから、対策を考えるべきである。加西でなく他の市町を奨める記事の方が、上位に出てくるのだから対応を考えないといけない。私が関わってきた熱海市は、きちんと対応されているので参考にしてほしい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 北条地区を重点的に増やすとか、人口対策で地区的な方向はあるのか。 コンパクトシティの考え方もあるが、今は小学校区単位で核をつくる考えとしていて、市街化調整区域でも特別指定区域制度等を活用して定住を考えている。

委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人の定住だけでなく、高齢者の定住も考えられる。 ・ リタイヤ世代、高齢者の移住・定住につながるCCRC構想を地域創生戦略には盛り込んでいるが、一番のターゲットは若者・子育て世代と考えている。
委員 事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市に家を建てた人が希望する、医療・介護の整った「第二のふるさと」という観点に注目すべきである。 ・ CCRC構想がその考えで、市民農園体験も手掛けており、移住につなげたい。 ・ 浜田市は母子家庭、父子家庭を対象にした移住を実施している。奄美大島では、フリーランスを対象に移住を進めている。10年程前、刑務所を誘致する話が人口増になると話題になった。
	<p>(4) 加西市行財政改革プラン（案）について 事務局から説明</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が増え医療費が増えていく。高齢者の健康寿命を伸ばすということに絞った考え方がいるのではないか。 ・ 定数削減や人員削減は進んできたと思うが、仕事には時間をかけても解決できない部分もある。今後、地域支援事業など多くの部門で、多様な事業主体を考えていく必要がある。
委員 会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加西に来て1年半になるが、行革プランのことを知っている人は少ないと思う。尼崎市の冊子はわかりやすくできていると思うが、もう少しPRすべきである。 ・ 行革プランのわかり易いチラシ等を考えるとよい ・ タウンミーティングでは、行革プラン、総合計画、戦略のプレゼン資料をつくり説明するなど、できるだけ周知に努めている。
会長 事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ タウンミーティングの出席者は限られると思う。 ・ 以前は、子育て世代を対象に開催したこともある。 ・ 行革プランの基本としては、①若い人の意見を集めること、②人員削減は、仕事は増えているので、仕事を減らすことや土日祝や時間外で頑張るということ。能力開発や適材適所の話もある、③民間への委託、④権限の委譲は、国・県の意向ではなく、市にとって本当に必要かをよく考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つ仕事を増やしたら、1つ廃止する。正しい努力をしてほしい。 ・ より外に向かって、発信できるかの目を持ちたい。加西はまじめにやっていると思うが、あれもこれも頑張るのは無理がある。小野はターゲットの捉え方がうまい。呼び込むものを明確にするとよい。 ・ 高齢者の助成と母子の支援、予算も人も限られている中で、選択と集中を考えないといけない時代である。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ PDCAが大切なので、丹念にやって選択していくことが求められる。 ・ 加西は北条町駅から遠い所に行きにくい。北条町駅と小学校校区とのアクセスも必要なので考えて行かないといけない。
	<p>3 その他 行財政改革プラン作成スケジュール及び加西市総合計画審議会の答申書の対応状況について事務局から報告した。</p>
委員 委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の人材育成は、公民館だけでなく幅広い取組みがされる必要があると思う。 ・ 公民館活動のDIY教室は好評で若い人のイベントにも公民館は使われている。 ・ 委員会での外部評価の意見等としての両委員と会長のコメントは、文書化してまず各委員がチェックして、会長加筆後、担当課に伝えておいてほしい。 ・ その他の内容についても、議事概要や口頭で担当課に伝わるようお願いする。
副会長	<p>閉会 副会長あいさつ 各部会に分かれて部会長を中心によくまとめていただき感謝申し上げます。また、各委員には事前に準備いただき、第2回には十分議論いただけたと思う。次年度以降、1～2回増やすことになるが今後とも皆様のご協力をよろしくお願いしたい。</p>